

本ガイド及び商標について

本ガイドの内容は予告無く変更される事があります。

全ての商標はその所有者の知的財産権に帰属します。

著作権について

Copyright © Connection Technology Systems Inc.

本ガイドの一部又は全部を何らかの方式でConnection Technology Systems Inc.に無断で複製、加工及び転載することを禁止します。

FCC 勧告について

MCT-5002FSMSFP+メディアコンバータは、FCC規則 Part 15に基づくクラスAデジタルデバイスの制限に適合することが試験により確認されています。これらの基準は、住宅環境に設置した場合に発生する有害な干渉に対して、合理的な保護を提供することを目的としています。本製品は無線周波エネルギーを発生・使用・放射するため、本ユーザーガイドに記載された手順に従って設置・使用しない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。

CE マークについて

MCT-5002FSMSFP+メディアコンバータは、CE EMCクラスA製品です。使用環境によっては、本製品が電波干渉を引き起こす可能性があります。その場合、適切な対策が必要となることがあります。

1. 梱包内容

本パッケージの梱包品を以下に示します。

- メディアコンバータ本体
- AC-DC電源アダプタ
- MCT-5002FSMSFP+ シグナルロスアラーム機能の概要
- 本ユーザーガイド

万一梱包品の不足がございましたら、弊社営業担当までご連絡ください。

2. 製品概要

MCT-5002FSMSFP+メディアコンバータはデータセンターまたはインターネットプロバイダおよびエンタープライズのブロードバンドサービスなどでSFP、SFP+用に設計された伝送距離を延長する製品です。802.3z と 802.3aeに準拠しており、単独または別売のMCT-RACKに搭載して使用できます。稼働状況は本体前面パネルのLEDランプにて確認できます。

主な機能

- シグナルロスアラーム機能 (シグナルロスアラーム機能については「MCT-5002FSMSFP+シグナルロスアラーム機能の概要」を参照ください。).
- 9Kバイトジャンボフレーム対応
- ファイバポートはループバックモードに対応
- ファイバポート間転送モードはフルトランスペアレントモードに対応
- MCT-RACK-12/18-MGM シャーシとの互換性

3. 設置・導入について

- MCT-5002FSMSFP+のファイバポートにSFP+及びSFPトランシーバを挿入し光ファイバが成端された光コネクタを挿入します。2芯ファイバ対応製品の場合、送信用(TX)と受信用(RX)のコネクタを正しく挿入してください。
- MCT-5002FSMSFP+の背面パネルの電源ジャックに、電源アダプタのDCプラグを接続しPower LEDが点灯する事を確認します。F/O1、F/O2ポートが正常にリンクアップしたらF/O1及びF/O2 LEDが点灯します。

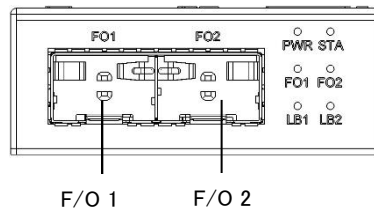


図 1. MCT- 5002FSMSFP+の前面パネル

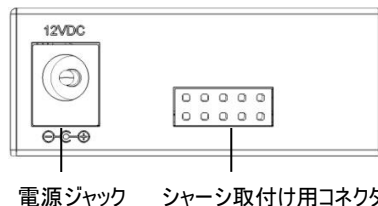


図 2. MCT-5002FSMSFP+ の後面パネル

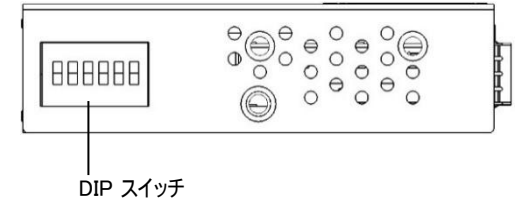


図3. MCT-5002FSMSFP+ の側面パネル

⚠ 注意

稼働時、製品本体は高温になる場合があります。製品の取付け、取り外しの際には保護具などを着用し、高温による火傷に注意してください。

4. LED表示について

LED	色	説明
Power	緑色	正しく電源が供給されている時に点灯。
FO1/2	消灯	ファイバポートがリンクダウンしている。
	緑色	ファイバポートが10Gbpsで動作中に点灯
	オレンジ色	ファイバポートが1Gbpsで動作中に点灯
LB1/2	消灯	FO1/FO2 ポートが通常モード。
	緑色	FO1/FO2 ポートがループバックモード時に点灯
Status	緑色	通常稼働時に点灯。
	オレンジ色	システム起動時に点灯 MCT-RACK-12/18-MGM シャーシ挿入時新しいファームウェアを検出した際に、ゆっくり点滅。新しいファームウェアにアップグレードして下さい 異常動作時、素早く点滅。
	オレンジ色 ↕ 緑色	ファームウェア更新時に緑色と橙色で交互に点滅。

注: ファイバポートの伝送時、F/O1、F/O2のLEDは点滅しません。

5. DIPスイッチの設定について

DIPスイッチの出荷時設定はピン5がオンで、他のピンはオフです。

Pin NO.	機能	OFF	ON
1	ファイバポート速度	10Gbps	1Gbps
2	シグナルロスアラーム	無効	有効
3	F/O1 ループバックモード	無効	有効
4	F/O2 ループバックモード	無効	有効
5	設定方法	ソフトウェア	DIPスイッチ
6	未使用	—	—

注意:

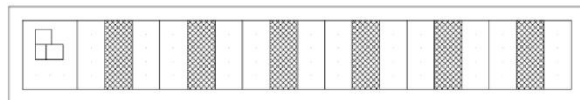
- DIPスイッチによる設定は電源を抜いてから行って下さい。
- PIN1～4の設定はPIN5がONになっている場合のみ有効です。
- ピン1でのファイバポート速度設定はファイバポートのリンク速度を確認し、リンク速度と同じ速度に設定して下さい。
- ファイバループバックモードが有効になっている場合(ピン3かピン4がONの場合)、メディアコンバータは、テストバケットジェネレータで生成された受信バケットをループバックして通信回路の状態を確認します。
- ループバックモード有効時にファイバポートは相互にパケットを送送できません。

6. MCT-RACKシャーシへの取付け

MCT-RACK-12/18シリーズ(Ver.A)シャーシへ最大6台まで搭載できます。搭載位置の詳細はそれぞれのシャーシHWユーザーガイドを参照してください。

＜MCT-RACK-18シリーズ(Ver.A)へ搭載の場合＞

適切な放熱効果を得るため、スロット1とスロット18を空け、十分な換気を保つため搭載スロットに隣接するスロットの使用は避けて下さい。



スロット1-----> スロット18

図3 MCT-RACK-18搭載例

＜MCT-RACK-12シリーズ(Ver.A)へ搭載の場合＞

MCT-RACK-18シリーズへの搭載同様、隣接スロットへのMCT-5002シリーズの搭載は避けて下さい。図4のような搭載を推奨します。

